

Feeling excited

“Dance with Heart”
We are burning with enthusiasm
in creating national art for the new era.
The Kikunokai Dance Troupe
Representative : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
03-5983-6001 (代表)
菊の会京都八瀬研修所
〒601-1254
京都市左京区八瀬野瀬町 10
075-712-8701 (代表)
http://www.kikunokai.co.jp

Dancing from the heart



時下益々ご清祥にお過ごしの事とお慶び申し上げます。
“日本のおどり”が私達の身近に存在する事を願い、目まぐるしく変化していく社会や時代と共に常に生まれ変わって行ける柔軟性と、決して変えてはいけない精神性をしっかりと堅持しつつ、舞踊団としての更なる成長を目指し精進を重ねて参る所存です。
今後とも皆様の変わりぬ御支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

ごあいさつ
舞踊集団 菊の会
代表 畑 聡

第17回さつき会「飛翔」より

大きな喜びを言い表すのに「手の舞い足の踏むところを知らず」と言う。太古から踊りは何よりも喜びの表現だった。踊る人の身体に溢れる大きな喜び。その輝きと熱が見てこころに伝わって、いつかこちらまで嬉しくなってしまう。こうして喜びが踊る人と見る人をつなぐ。踊る人と見る人が一つになる。天の岩戸の時代から、それが踊りの持つ一番の功德だったはずだ。
それなのに、近頃の日本舞踊の舞台には喜びがほとんど感じられない。達者な芸、品格を誇示する踊りは多いけれど、肝心の喜びはどこへ行ってしまったのだろうか。
菊の会の舞台が素晴らしいのは、いつも喜びがあることだ。踊り手はいかにも楽しそうに、踊ることの幸せを包みきれぬように、手足の先まで生気をみなぎらせている。
そしてまた観客たちも、ほんとうに嬉しそうに踊りを見て、踊らなくても気持ちちは舞台と一つ。そんな顔をしている。
とはいえ伝統芸能には先達が鍛え上げ、時代を超えて伝えられた芸があるから、もし舞台の踊りが水準の低いものだったら、いくら喜びがあっても、人に見せるに価する芸とは言えない。観客というのは怖いもので、自分では踊れなくても、下手は下手と、すぐ見抜く。
菊の会の立派なところは、日頃の修練がじつに行き届いていることだ。筋の正しい稽古をしっかりと積んでいることが、一目で分かる。逆に言うと、稽古がしっかりと積んでいるから、喜びを表現できるのだろう。
時代はどんどん変わって行く。スピード感も美意識も、道徳や社会連念も変化する。それは受け入れなくてはならない。過去の人に見せるのではなく、今を生きている人に見せるのだから。
けれども踊ることの喜びを失わず、そのための修練を積んでいるかぎり、日本から日本舞踊が消えるはずはないし、菊の会の未来はどこまでも明るい。



東京女子大学名誉教授
佐々木 涼子

菊の会の 明るい未来

上半期の主な活動

- ★ 1月11日「おどり初め」
- ★ 2月15日「第4回 幸舞の道」・・・①
担当講師の勉強会として、7演目17名が出演。
- ★ 2月22日「賑わい町興し、再発見ニッポンの伝統」
〈地域商店街活性化事業〉ゲスト原田直之
- ★ 3月6日越谷公演「燃えよ日本列島」・・・②
- ★ 3月7日NHK「民謡魂(島根県浜田市)」放映。
- ★ 3月20日金曜赤坂座 畑代表が「竹」で出演。
- ★ 3月22日「おどりの広場 in 流山」
地元の子供たちも交えて、大いに盛り上がりました。
- ★ 3月28日～4月5日「第1回 さくらまつり」・・・③
桜の名所、地元西落合で初めての開催。
- ★ 4月19日「第33回 友の会懇親パーティー」
美味しいお食事と共に、アトラクションや抽選会で楽しいひと時を過ごしました。
- ★ 5月2日～4日「第17回 さつき会」・・・④
若手のエネルギーあふれる舞台に感動。
- ★ 5月31日NHK「民謡魂(徳島県阿南市)」放映。
- ★ 6月7日所沢公演「躍れ日本の心」・・・⑤
- ★ 6月13日「おどりの広場 in 鹿嶋」
大好評の鉄板焼きと楽しい盆踊りが大盛況。
- ★ 6月15日 新宿区立落合第二小学校(学校公演)
- ★ 6月20日 関西創価小学校(学校公演)



①第4回幸舞の道「船弁慶」 ⑤所沢公演より「盆の流し唄」



④「さつき会」 ②越谷公演より「草刈唄」 ③「さつき会」



③第1回「さくらまつり」

本年度で7期目となる文化庁事業 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」(巡回公演事業)

“各地で若い世代の皆様にも日本の伝統舞踊の楽しさ、面白さを伝えて参ります!!”

- | | |
|--|---------------------------------|
| 6月17日(水) 甲賀市立柏木小学校(滋賀県甲賀市) | 10月26日(月) 和歌山市立砂山小学校(和歌山県和歌山市) |
| 6月18日(木) 長浜市立伊香具小学校(滋賀県長浜市) | 10月27日(火) 和歌山市立有功東小学校(和歌山県和歌山市) |
| 10月19日(月) 志摩市立越賀小学校(三重県志摩市) | 10月28日(水) 田辺市立秋津川小学校(和歌山県田辺市) |
| 10月20日(火) 三重県立特別支援学校北勢きらら学園 (三重県四日市市) | 10月29日(木) 古座川町立古座中学校(和歌山県古座川町) |
| 10月21日(水) 三重県立城山特別支援学校(三重県津市) | 11月2日(月) 橋本市立清水小学校(和歌山県橋本市) |
| 10月22日(木) 大阪市立光陽特別支援学校(大阪府旭区) | 11月4日(水) 吉野町立吉野中学校(奈良県吉野町) |
| 10月23日(金) 阪南市立朝日小学校(大阪府阪南市) | 11月5日(木) 天理市立西中学校(奈良県天理市) |
| | 11月6日(金) 天理市立柳本小学校(奈良県天理市) |
| | 11月9日(月) 有田川町立金屋中学校(和歌山県有田川町) |

平成27年下半年菊の会公演予定 INFORMATION

- ◆アトリエシネマ〈戦後七十周年に寄せて〉
創作舞踊劇『カッチャ行かねかこの道を』(上映会)
日時：8月29日(土) 午前11時/午後3時
会場：菊の会スタジオ(東京都新宿区)
- ◆東村山公演『日本のおどり』
日時：9月12日(土) 午前11時/午後1時30分/午後4時
会場：東村山市市民ステーション「サンパルネ」
コンベンションホール(東京都東村山市)
- ◆『さなぶり春駒/月光に舞う』
●日時：9月26日(土) 午後1時30分開演
会場：和光大学ポプリホール鶴川(地下2階)(東京都町田市)
●日程：9月29日(火) 午後2時30分/6時30分開演
会場：タワーホール船堀(5階小ホール)(東京都江戸川区)
●日程：9月30日(水) 午後2時開演
会場：千葉市文化センター(3階アートホール)(千葉県千葉市)
- ◆民族舞踊詩『海はるか日本を躍る』
日時：11月7日(土) 午後2時30分開演
会場：京都府立文化芸術会館(京都府京都市)
- ◆『日本のおどり』
●日時：11月28日(土)
会場：キラリ☆ふじみ(埼玉県富士見市)
●日時：11月29日(日)
会場：鹿嶋勤労文化会館(茨城県鹿嶋市)
●日時：12月3日(木)
会場：八王子市学園都市センター(東京都八王子市)

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】
舞踊集団 菊の会 事務局 Tel:03-5983-6001
菊の会京都八瀬研修所 Tel:075-712-8701

明日への一步



一步会 事務局長
安齋 作子

東日本大震災、原発事故から五年目に入った今も尚、二十万人超が避難生活中。時間が止まったままの破損した家々、住人を失った町々、除染廃棄物の詰まったフレコンバッグの山々。爪痕の大きさに言葉が出ない。福島県浜通りの現実です。

ふと立ち止まり、北の夜空を見上げれば、ふるさとの友、どこでどうしているのだろう、家族と連絡も取れず、



越谷公演「散る桜」

◆「避難して四年。そんな時、菊の会の舞踊にご招待頂きありがたうございました。黒田節は以前より大好きな舞だったので、今でも心に残っています」

◆「入しぶりに見る華麗な舞。避難する前、老人会で舞の発表がある為、日本舞踊を習っていましたので、手の動き足の動き、扇子の持ち方など、興味津々で見て、習っていた時の事を思い出しました。又、古里福島の曲が流れた時は熱い想いが込み上げてきました。三・一一を忘れない、忘れてはならない、忘れたくない、菊の会の舞を見て頂き、心に残る一ページになりました」

◆「最初から最後まで見る舞は、私達は福島事故により恐怖にさらされ、故郷から家族、友人等あらゆるものから分断されている最中、舞で心を励まし温めて下さった事、本当に感謝の念で一杯です」

◆「本格的な日本舞踊を見たのは初めてで、すごく感動しました。皆様と一緒に写真撮らせて頂き記念になりました」

◆「とても楽しく拝見致しました。民謡舞踊は親しみやすく、躍動感があり、楽しかったです。また、機会があったら拝見したいと思っております。ありがとうございます」

◆「夢と希望を胸に歩む愛を繋げば、日本の明日を信じて、一歩から始めよう、心繋げば大丈夫、独りなれる、明るい明日を信じて、一歩から始めよう、一歩ずついいから」



越谷公演終了後、一步会の皆様と記念撮影

（二歩会プロフィール）
東日本大震災・原発事故の被災者が支援者と共に自分たちでできる一歩を笑顔で進む新しい家族であり共に生きる仲間たち



所沢公演 狂言舞踊「素襖落」



さつき会「飛翔」



さつき会「お祭り」



「飛翔」



「中野七頭舞」

【特別寄稿】

「菊の会」の更なる飛躍を

江戸川区長
多田 正見



菊の会の皆様には、日頃から本区の芸術文化の向上に多大なご貢献をいただき、心から感謝を申し上げます。

舞踊は、私達の生活に潤いとやすらぎを与えることにより、古くから多くの方々可愛され、親しまれてきた我が国の大切な民族文化です。

菊の会は、日本の古典舞踊を基本に、民族芸能のもつ魅力とエネルギーを常に新しい感覚で表現し、日本国内はもとより、世界を舞台に活躍されております。本区で公演は昭和五十九年から毎年開催されていますが、今や日本を代表する菊の会が区内で公演いただき、感動の舞台を披露していただけることは誠に光栄なことであり、区民にとってもこの上ない喜びであります。私も毎回楽しみにしております。

また、未来の日本を担う子どもたちのために、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」

の採択を受け、全国の学校で巡回公演を行うとともに、各地で舞踊教室を開催するなど、地域に根ざした活動にもご尽力されており、

優れた芸術文化に接し、心の豊かさを養い、幸せを実感することはとても貴重なことであり、様々な機会を通じて、区民をはじめ多くの人々に是非とも体験してほしいと思っております。

菊の会はこれからも、創立者（故）畑道代先生の言葉の如く、「馥郁とした香りと、その品格と豊かさを兼ね備えた日本の花菊」のように、国内外を問わず、日本の美、日本人の心を伝え、多くの感動を与え続けていただければと確信しております。畑代表とご一門の皆様の一層のご活躍と菊の会の更なる飛躍を心よりお祈り申し上げます。



江戸川区役所へ訪問した折の記念撮影



創立者 畑道代 清元「熊野」

「躍動的な菊の会の踊りに感動」



馬頭琴奏者
賽音吉雅
(セインジャー)

さる四月十九日の菊の会「友の会」懇親パーティーの際に、中国の有名な馬頭琴奏者・セインジャーさんの素晴らしい演奏があり、日本の叙情歌「出船」の曲で宮沢りかさんが踊るというコラボレーションもありました。菊の会のアトリエ公演等もご覧になつているセインジャーさんに、菊の会に対する印象を語ってもらいました。



所沢公演 大和楽「寿」・「舞」

◆ ◆ ◆

◆「以前いわゆる「日本舞踊」に招待されて観たことがあります。一つ一つは良い踊りでしたが、全体として、物足りないという思いでした。

◆ところが、菊の会のプログラムを最後まで観ても驚きませんでした。心から感動したのです。日本の洗練された古典舞踊を基礎とした上に、各地に伝えられる土俗的な民俗芸能やそれらを統合した創造的な作品を生きて生きと演じられているからです。



さつき会「喜響太鼓」

◆幅広い演目の中で、集団で大勢のメンバーが整然と、しかも現代人の感覚にマッチした時間構成でテンポよく踊っていることは素晴らしいです。演じる一人一人の踊りから、日頃のレッスンの厳しい事がわかります。幅広い年齢の人達が一緒に踊っていました。「踊りを違った世代に伝える」ことが大事なことでも良い事だと思いました。そして、何よりも踊っている人達が楽しそうに表現力豊かに踊っているの、その気持ちがちらにも伝わってくるのです。大満足でした。

◆私もモンゴルの伝統楽器馬頭琴の魅力を知ってもらおう努力をしています。菊の会の皆さんと協力し合いながらこれから活動できれば嬉しいと思います。(談)

（プロフィール）
内モンゴル出身、1976年生まれ。東京在住。内モンゴル芸術学院卒業後来日し、精力的な演奏活動を展開中。2005年（文部科学省選定作品）の「スーホーと白い馬」映画主演と音楽監督。2013年3月テレビ朝日「徹子の部屋」出演。2013年内モンゴル国際文化交流宣伝大使に任命。